

(出水市)

株式会社マルマエは半導体とFPD製造装置の部品、真空パーツを製造している会社です。世界トップクラスの装置メーカーを真空パーツで支えています。

当社は1965年に創業し、1988年10月に有限会社マルマエ工業として法人化し、2001年に組織変更して株式会社マルマエとなりました。1997年に現在の事業の基となるR&D事業部を設置し、レース用オートバイ部品製造を開始いたしました。

それ以降、発電所用タービン部品、防衛庁向け部品、医療装置部品、産業用ロボット部品と事業分野を展開し、現在では半導体製造装置やFPD製造装置、あるいは太陽電池製造装置に使用される真空パーツメーカーへと事業分野を広げています。



代表取締役社長 前田 俊一

会社概要

2024年2月29日現在

■所在地 〒899-0216
鹿児島県出水市大野原町
2141番地

■代表者 代表取締役社長
前田 俊一

■設立 1988年(昭和63年)10月

■TEL 0996-68-1150

■資本金 12億4,115万円

■FAX 0996-68-1151

■従業員数 320人

■E-Mail info@marumae.com

■事業概要 精密機械部品の設計、製造、加工

■URL <https://www.marumae.com/index.html>

■主要製品 半導体製造装置およびFPD製造装置の心臓部に使用される真空パーツ

技術で社会に貢献する

マルマエはお客様の「困った」を技術で解決することで成長してきました。当社の技術基盤は、元レーサーの現社長が複雑形状のバイク部品を開発・製造することで培われ、当社の技術者たちが研鑽を重ねて日々進化しています。当社では、技術を闇雲に習うのではなく、物事の本質を見極め、自分自身で考えて生み出すことで技術を極めています。この技術と社員の努力によりお客様の信頼と支持を得て、継続した取引に繋がっています。自分たちの技術を使ってお客様に寄り添い、課題を解決する。その繰り返しの中で社会に貢献してまいります。



マルマエがスポンサーのオートバイ

資本力に基づいた設備力

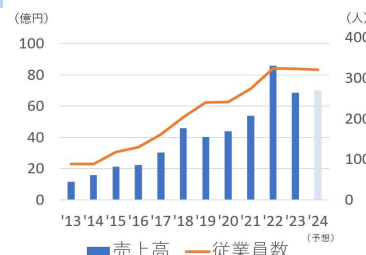
マルマエは様々な種類やサイズの設定や国内有数の機械を保有し、国内だけでなく世界中の装置メーカーに、当社でしか作れない精密部品を提供しています。上場によって得た資金力で、半導体の需要増に対応して果敢に設備投資を行うことで、お客様の需要に応えています。このように市場成長の波に乗ることによって得た資金は次の設備投資へと活かされ、次の成長へと繋がり、好循環を生み出しています。また、大型機や電子ビーム溶接機など他社が手掛けにくい製品を当社が製造することで供給責任を果たしています。



工場内の様子

鹿児島県に本社がある東証プライム上場企業(一社目)

マルマエは2006年の東証マザーズ上場から、業績と信頼を積み重ね、2018年には一部に指定されました。2022年4月からは東証の市場区分が再編され、マルマエは上場基準が最も厳しい「プライム市場」への上場が承認され、鹿児島県本社企業は一社のみでした。プライム市場はグローバル企業向けの市場で、高い水準のガバナンス体制が求められるとともに、環境・社会・企業統治(ESG)への対応が求められます。経済活動のみならず社会的課題にも目を向け、社会的意義のある活動も推進することで地域や社会へ貢献してまいります。



売上増加に伴って採用数も増加